



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2062号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 栗原 達治 幹事 藤江 康儀



広重版画より 三島 朝霧

第2125回例会

2016.7.21晴

司 会

矢岸克行君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

副会長 西本和夫君

初めての挨拶をさせていただきます。本日は亥角ガバナー補佐の訪問もあり大変緊張しています。

2017～2018年度の会長選出時には指名委員長の関本照文さんをはじめ遠藤眞道さん、伊丹さんには大変ご迷惑をおかけしました。この場をお借りしましてお詫びを申し上げます。大変失礼いたしました。また、関本文彦さんには幹事選出で本当にお世話になりまして有難うございました。私の考えていたより3年早い指名だったので気持ちの準備不足で動揺が強かったです。矢野年度にはクラブ幹事をさせてもらい、これでロータリークラブに名前が残ったからいつ退会しても良いと思っていました。入会した当時は例会に出席しても皆さんが声をかけてくれましたが全然楽しくなかったです。入会当初の親睦一座の講演から急激にメンバーとも打ち解けたと思います。またゴルフ同好会で皆さんと一緒にプレーし始めた頃からロータリークラブの楽しさが分かってきました。

三島西ロータリークラブに入会して19年目になります。早いと言うより歳をとったなと実感しました。会長という職責をまっとうできるか不安がいっぱいですが一生懸命がんばるつもりです。会員の皆様のご理解と協力ご支援をよろしくお願いいたします。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 静岡第2分区ガバナー補佐・亥角裕巳君
ガバナー補佐事務局・平出利之君
ビジター 飯田健吾君(伊豆中央RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	34/41	82.93%	35/41	85.37%
今回	36/42	85.71%	会員総数	47名

欠席者 石井(彰)君、諏訪部(照)君、野田君、前田(博)君、矢野君、山口君

幹事報告

幹事 藤江康儀君

- ①第1回IM実行委員会が、明日、7月22日6:00より行われます。各委員長は、出席お願いいたします。尚、欠席の場合は、必ず代理をお願いいたします。
- ②来週7月28日(木)前年度の決算報告です。担当者は準備をお願いいたします。
- ③来月8月19日(金)生子ガバナーの公式訪問です。例会日変更でブケ東海三島、4クラブ合同例会です。万障繰り合わせの上、全員出席をお願いいたします。その打ち合わせを、7月28日(木)会長幹事・次年度会長幹事・SAAで行いますので、担当者はお願いいたします。
- ④続けて、8月20日(土)社会奉仕委員会の2016日本赤十字社献血キャンペーンのご協力をお願いいたします。
- ⑤本日、見晴フェステバルのご案内を持って、職員の方に来ていただきました。ちなみに10月16日(日)例会日・例会場は変更です。よろしくお願いいたします。
- ⑥幹事の都合で8月第1例会の役員・理事会を7月28日(木)11:45分に変更いたします。ご了承ください。

2016～2017年度
国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

人類に奉仕するロータリー

おめでとう

会員誕生日 遠藤(正)君、矢岸君、
平出君
入会記念日 橋本君
奥様誕生日 古川君

卓 話

「50歳を迎え」これまでの人生について

大石裕之君

「孔子の論語にある、40にして惑わず、50にして天命を知る」
50歳になりました。

1.出身地(幼少期)

昭和41年6月1日、静岡県小笠郡大須賀町大淵(現在の掛川市大淵)に生まれました。具体的には、現在の掛川市の南部、遠州灘に面した目の前は海、北は山に囲まれた小さな田舎町であります。大須賀町をより具体的に説明すると、東日本大震災以降原子力発電所の話題に上る浜岡原発のある御前崎市の海岸沿いを西に向かい、旧大東町そしてその西側が私の生まれた旧大須賀町となります。ちなみにその西側が旧浅羽町・旧竜洋町旧福田町となり、その先が西部の中心都市浜松市となります。遠州灘の海岸の町はすべて平成の市町村合併により掛川市・袋井市・磐田市に吸収合併された地域となりました。私は、この山と海に囲まれた大自然の中、言い換えるとただの田舎町で、地元の小学校・中学校を卒業しました。当時の思い出としては、小さなころから大自然で伸び伸びと成長したためか、体が大きく中学校に入るときには168センチという、かなり大きな子供でした。そして中学2年生になるころには、178センチぐらいとなり、もしかすると巨人病ではないかと不安になった時期もありましたが、実際には179センチで止まりました。そして、高校は掛川市にある掛川西高等学校に入学しました。掛西といえば、高校野球の強豪校を思い浮かべる方も多いと思います。私も小学校低学年から野球を続けていたため当然に野球部に入りましたが、怪我をして小さなころからの夢を諦め、人生初めての挫折を経験しました。

2.初めて親元を離れて(大学生になって)

高校卒業後、専修大学経済学部に入學し、初めて親元を離れて東京は新宿区下落合にある東京学生会館という学生寮に入り大学生活を始めました。今でいう学生マンションとは違い4人1部屋の共同生活です。(株)学生援護会(かつてリクルートと並び学生のアルバイト・就職情報事業の会社)が運営し国からの補助を受け、月に3,300円という、当時でも破格の家賃でした。東京近郊にある約45大学が入居し大学ごとにまとまり、共同生活をするというものでした。地方から学生を中心に約数百人が居住しておりました。個人的には、大学生になったらやってみたくて思っていました一人旅・旅に出かけていました。1年生では、電車で北陸3県を旅しました。大学2年にはバイクで約一か月かけ野宿をしながら北海道へ。そして大学3年には車で九州一周旅行と四国以外の県にはほとんど行ってきました。

3.社会人(スルガ銀行)に入社

私がスルガ銀行に入社したのは、平成元年4月。西暦で1989年。世の中はバブル真只中でした。(1985年プラザ合意からドル安に向け各国が協調し、国内景気が悪化する中過去にない低金利政策により借りやすくなった資金で土地・株式などに投資つまり財テクがブームとなり、土地神話とのいう言葉まででてきて、土地の値段・株は必ず上がると思われていた時代でした。)そんな環境の中、銀行に入社した最初の店舗は、バブル真只中東京の広尾にある、麻布広尾支店でした。当時の思い出は、10百万円の土地購入の話があると、12百万円の融資を実行しておりました。つまり、土地が上がるの見込み、値上がり分まで融資するというものです。入社1年目の私には、よく意味が分かりませんでしたが、それがバブルという意味だと後で理解しました。そうした大都会で約3年勤務し、その後は藤枝の岡部支店、袋井支店、そして県庁支店と異動し、個人ローンに力を入れ始めた2000年頃、静岡HLCに異動。プライベートでは、入社4年目で結婚、入社10年目の33歳の時に現在の藤枝に家建てました。銀行員は、家を建てると単身赴任が多くなるという話を聞くことがあると思いますが、私も他にもれず、単身赴任が多くなりました。幹部社員となり、まずは名古屋HLC、その後は小田原HLC、そして地元である岡部支店で初めて支店長となりました。その後、ゆうちょ銀行との住宅ローンでの業務提携の第一弾として、ゆうちょ銀行に出向しました。ちなみに私は、京都中央郵便局にある、ゆうちょ銀行京都店のローンサービス部長として約3年勤務しました。ゆうちょ銀行京都店では私を含め10名ぐらいの部署で京都府滋賀県の不動産業者への訪問し、不動産案件を持ち込みして頂くというものです。当然に地元銀行がやっている住宅ローン業務に対して、新規に参入するわけであり、当初はとにかく足で稼ぐという認識してもらうことから始め、1日十数件の業者周りからはじめました。京都は、時代的な背景もあり、一見さんお断りと言われるように新参者を受け入れることはなく、全国で有数の新規事業をしにくい地域であります。開設当初は大変苦労しました、約3年間京都市内を駆け回りました。現在の基盤を作りました。プライベートでは、もともと歴史が好きな私は、休みの日には神社仏閣を回りました。そのおかげで、仕事は大変でしたが京都は第2の故郷ぐらいの思いもあり、現在でも毎年足を運び、観光に出かける場所となっております。そして、ゆうちょ銀行から銀行に戻り、富士鷹岡支店・伊東支店・そして昨年の10月より三島セントラル支店に配属となりました。三島セントラル支店は、歴史のある三島地域の基幹店です。特に三島地域は関本会長、宇田川社長といった大先輩が取り仕切ってきた弊社にとって大変重要な地域であります。その伝統を守りつつまた新たな時代の地域の基幹店として、地域とともに、成長していけるよう、頑張っていきたいと考えております。

最後になりますが、私の「天命」は何か今はわかりませんが、いつか理解できる日が来ることを信じてこれから始まる50代を楽しんでいきたいと思っています。

※ガバナー補佐挨拶・スマイルは次号に掲載します。

(週報担当:遠藤真道)

三島西RCテーマ

親睦を深め ロータリーを楽しもう